

# 浅草地域まちづくりの3つのプロジェクト

- ・浅草地域まちづくりの基本理念、基本方針に基づく事業は、目指すまちづくり像の具現化であるため、その成果が見えるよう、達成すべき時期あるいは機関において集中的に実施する3つのプロジェクトとして整理する。
- ・各プロジェクトの考え方は次のとおりとする。

基本理念 「浅草の歴史・文化を育み、新たな賑わいを創造するまちづくり」

基本方針  
来やすく歩きたくなるまちづくり  
街並みがつながるまちづくり  
賑わいが広がるまちづくり  
時代や文化を体感できるまちづくり

地域の特性を踏まえたまちづくりの方向性

粋なまちなみゾーン

潤いと安らぎの親水ゾーン

賑わいの中核ゾーン

暮らしと賑わいの共生ゾーン

都市機能再生ゾーン

3つのプロジェクト

アクセス環境充実プロジェクト

賑わい創出プロジェクト

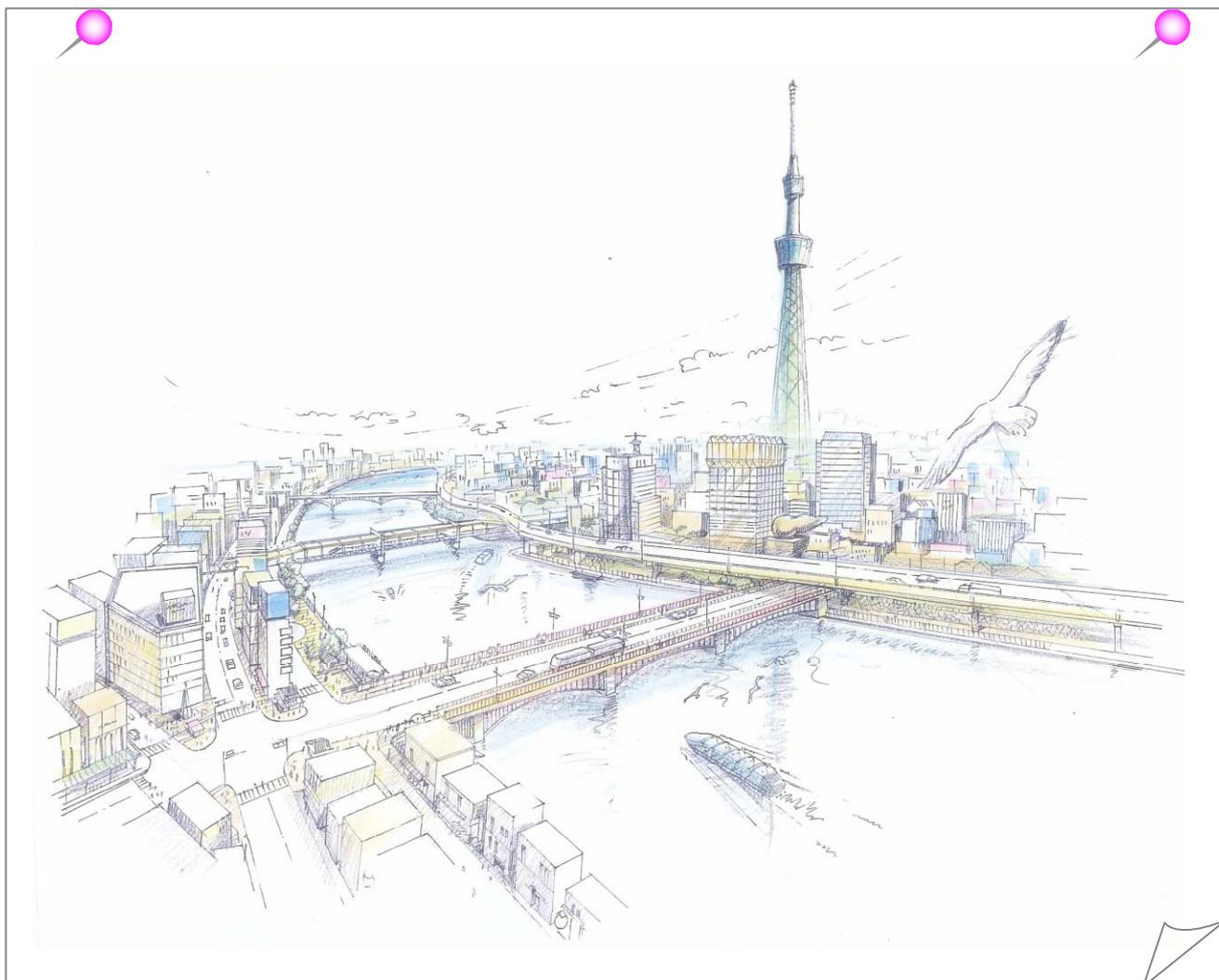
水辺活性化プロジェクト

## アクセス環境充実プロジェクト

多くの来街者に、いつでも、どこからでも浅草を訪れてもらえるようアクセス性を高めるまちづくりでは、早くて、便利に利用できる公共交通網の充実と安心して多様な交通手段を選べる取組み、そして、その情報を広く他の地域で提供することが重要である。

また、個人や団体あるいは高齢者や障害者、外国人などのあらゆる来街者に対応できる都市基盤や案内システムを地域内、地域外ともに整備していくことが必要である。

訪れていただいた来街者の滞在時間や楽しみの幅を広げるために、新タワー建設地との回遊性や隅田川を挟んだ浅草・墨田を一つの下町文化エリアと捉えた回遊性確保、上野地域、秋葉原地域との連携など、アクセス環境の充実を図る。



## 賑わい創出プロジェクト

浅草地域のさらなる賑わいを創出するために、伝統的な文化を育み、さらに、新たな文化を創造して、まちの魅力を高めていく。

文化的活動の条件整備など、文化を育むとともに、芸術芸能への支援など、新たな文化の創造を図っていく。街並み整備及び歩行者空間の整備においては、江戸、明治、大正、昭和の歴史と文化を体感できるよう、建物形態、ファサード、街路灯や歩道等の形状・色彩など統一景観を定めたまちづくりを推進する。

おもてなしのまちづくりを演出する多様な観光体験型商いの開発や、沿道での歩行者の休息空間づくりなど、見て、触れて、ゆっくり楽しむ新たな観光資源づくりを展開する。



## 水辺活性化プロジェクト

浅草地域をさらに魅力ある観光拠点として育てるには、隅田川の水辺の賑わいを創出するとともに、舟運を周辺と連絡する公共交通として機能させるなど、川からの集客を意識した展開を推進することが重要である。

こうしたことから墨田区の隅田川水辺空間構想等との整合を図りつつ、親水空間整備を推進するとともに水上バス乗り場の利便性の向上や陸上交通との結節機能の充実について検討する。

さらに、憩いと賑わいを誘導する水辺空間づくりでは、隅田川流域一帯の陸上からの水辺動線の整備を図り、川に面した街並みや賑わい機能の誘導など、自然を大切にしつつ、川に親しみ、集える環境づくりを展開する。

